

ひらくびつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'83 11月号

□ 教育普及活動の紹介 16 □

土曜観察会

自然の新聞を作ろう！

このたび、生物担当の浜口学芸員をキャップに、「自然の新聞」（創刊号）を発刊する運びになりました。

これまで、毎月の第2と第4土曜日の午後に、土曜観察会を行ってきましたが、これからは、自然の中で見たり聞いたり体験したことを、また観察を通して読みとったことなどを記事にして新聞を発行して行こうと言うのです。

私たちの人間社会に、政治や経済、文化や宗教を通じたいろいろな事件やドラマがあるが、毎日の新聞を賑わしているのと同じように、自然の中にも、いろいろなドキュメントや変化、また人間との関わりの歴史が生まれています。自然の中に事件を探し、生きている動物や植物たちが主人公で、林や川を舞台にくりひろげられているドラマを取材して、新聞にしようと言うのです。

このような視点に立った新聞づくりの実例とし

ては、茅ヶ崎市文化資料館の「茅ヶ崎・自然の新聞」、箱根町教育委員会の「野山のたより」などがあります。内容は、「イナゴの復活—市立病院西側の農道を歩いてみました。イナゴがいるとは聞いていましたが、その多いことにびっくりしました。農薬の普及で一時姿を消していましたが、薬を使わなくしたのでしょうか——」とか、「今年の秋はくるい咲きの花が目につきます。○○公園に行ってみるとなんと桜が咲いていました。どうしたことでしょう。春咲くハクモクレンやサツキ、ライラック、シャクナゲなども咲いてしまいました——」と言った具合に、記者達（各観察者）の取材記事が満載されています。

現在、土曜観察会に参加している人達は、25名位おります。10月は、高麗山へ観察（取材）に行きましたので、高麗山の様子を報道してくれる新聞（創刊号）が、11月中旬頃出る予定です。毎月1回の割りで、これから、相模川、渋田川、浅間山、平塚海岸の自然の様子などが、観察会（取材）⇒取材カードの記入⇒記事作成⇒編集のプロセスを通じて、報告されて行くでしょう。



11月の行事

1	火	
2	水	
3	木	(文化の日・休館日)
4	金	
5	土	プラネタリウム、古文書講読会
6	日	プラネタリウム
7	月	(休館日)
8	火	
9	水	
10	木	デッサン教室
11	金	デッサン教室
12	土	プラネタリウム、土曜観察会「自然の新聞を作ろう」、石仏を調べる会
13	日	プラネタリウム、自然観察会「震生湖に秋を訪ねて」
14	月	(休館日)
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	プラネタリウム、古文書講読会
20	日	プラネタリウム
21	月	(休館日)
22	火	
23	水	(勤労感謝の日・休館日)
24	木	
25	金	星を見る会「秋の星座と星雲・星団」
26	土	プラネタリウム、土曜観察会「自然の新聞を作ろう」、石仏を調べる会
27	日	プラネタリウム、体験学習「巣箱を作ろう」、地層観察会
28	月	(休館日)
29	火	
30	水	(月末休館日)

※ 11、12月のプラネタリウムは、「宇宙の重さ」をテーマに投影します。
※ 寄贈品コーナーでは、「高瀬コレクション展」を行っています。29日まで。



あなたも参加してみませんか

●星を見る会「秋の星座と星雲・星団」

秋の夜空に広がる星座たちと、その中に散りばめられた星雲・星団を観察します。
(博物館の望遠鏡を使います)

日時 11月25日(金) 18~20時

参加自由。当日、博物館科学教室にお集まり下さい。

●体験学習 「巣箱を作ろう」

巣箱作りは今年で4年目ですが、例年通り、午前中、巣箱を作り、午後は高麗山にかけに行きます。昨年までにかけた巣箱の掃除も行います。

日時 11月27日(日) 9時~16時

(雨天の場合は室内作業のみ)

場所 博物館・科学教室 (午後は高麗山)

申し込み 往復ハガキで、11月15日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で20名まで。



●体験学習№80「おかざりを作ろう」

正月に玄関などに飾る「おかざり」を作ってみます。

日時 12月18日(日) 9時30分~15時

場所 博物館・科学教室

申し込み 往復ハガキで、12月10日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で50名まで。

●プラネタリウム観覧券の発売開始時刻と投影開始時刻

投影日	回	券発売開始時刻	投影開始時刻
土曜日	第1回	12:00	13:40
	第2回	14:00	15:00
日曜日	第1回	9:00	10:30
	第2回	12:00	13:30
水曜・木曜日	団体専用		

§ 平塚なうまんぞう物語 §

5 神奈川県内のナウマンゾウ化石

今回、平塚市上吉沢で発見されたナウマンゾウは、県内で発見されたナウマンゾウ化石としては 11 例目である。

最も古くは、1881年にナウマンゾウの由来であるドイツ人のナウマンが日本で初めて横須賀市白松山（アメリカ海軍基地内）の大津層から報告したものである。これは左右の下顎骨であるが、その後、右の臼歯は紛失してしまった。この標本は現在国立科学博物館に保管されている。

その後、横須賀市からは長井町大木根の宮田層から、1929年、1964年、1970年の3度に亘り、右下顎臼歯、右上顎臼歯片、左肩甲骨、左上腕骨、肋骨、脊椎骨、趾骨、尾骨などが産出した。1964年及び1970年に発掘されたものは同一個体で、20才を越える象であったといわれる。

横浜市では、1934年に鶴見川河口で右第2臼歯が発見された。これは鶴見川上流の下末吉層から洗い出されたものと考えられている。この象に対し、当時ヨコハマゾウと命名されたが、現在ではナウマンゾウとみなされる。また、1967年には鶴見区上末吉町梶山の下末吉層から第2臼歯が発見されている。

鎌倉市では、1968年に腰越町の竜口寺層から牙（切歯）が、藤沢市では、1974年に伊勢山辺の下末吉層の下部層シルト層から臼歯が発見された。また、藤沢市渡内天岳院下の下末吉層からは1975年及び1980年の2度に亘り、左右肩甲骨、左右骨盤、脛骨、腓骨、足根骨、中足骨、頸椎、胸椎、肋骨など胸椎部と腰部を中心として、数十点が産出した。先の藤沢市伊勢山辺のものと同時代のもので、シルト層中の火山灰層により、約15万年前のものと考えられている。

大磯丘陵では、未報告ではあるが、1972年に平塚市土屋・矢沢の吉沢層より上顎右第三小白歯が産出したほか、1977年に中井町田中南より^{かのまち}寛骨及び上腕骨が、また小田原市上町南より切歯片（牙）が産出している。

以上のナウマンゾウ化石は、すべていわゆる下末吉期（約15～12万年前）及びそれをやや逆の時代のものである。今回上吉沢で発見されたものは、火山灰により約8万年前のものであることが判っており、県内で最も新しい時代のものである点で注目される。また、今回の発掘では左右の下顎骨及び第三大臼歯、第一大臼歯、頸椎、胸椎、脛骨などが産出したが、このように多量の骨がまとめて産出したという点では県内では、横須賀市長井町大木根、藤沢市渡内について 3 例目である。さらに下顎骨に左右の臼歯が伴って産出したのは極めて珍しい。

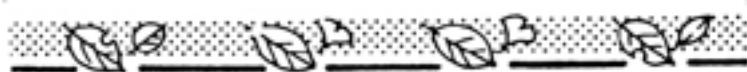
このように今回のナウマンゾウ化石は、県内のゾウ化石のうちでも非常に重要なことから、博物館では骨格標本を作成して展示することを計画している。

（学芸員 森慎一）



- 1 横須賀市白松山
- 2 横須賀市長井町大木根
- 3 横浜市鶴見区鶴見川河口
- 4 横浜市鶴見区上末吉町
- 5 鎌倉市腰越町
- 6 藤沢市伊勢山辺
- 7 藤沢市渡内天岳院下
- 8 平塚市土屋矢沢
- 9 中井町田中南
- 10 小田原市上町南
- 11 平塚市上吉沢山田屋敷

神奈川県内のナウマンゾウ化石の産出地点



□ □ □ □ □ □

10月15日付けの機構改革で 市史編さん係が博物館へ！

10月15日付けで行われた庁内の機構改革で、今まで総務部に属していた市史編さん課が、博物館の市史編さん係に組織替えになりました。

これにより、従来、管理係と学芸係の2係だった博物館の組織が、市史編さん係を加えて3係になりました。



ご存知のように、博物館の事業には

- 相模川流域の自然と文化、天文などの博物館資料を収集、保管、展示する
- 専門的、技術的な調査研究をする
- 資料の説明、助言、指導などをする
- 解説書、目録、図書、調査研究報告書などを作って、頒布する
- プラネタリウムの映写、天体観測の指導をする

などと言ったことがあります、新たに

- 市史を編さんする
- 事業が加わり、博物館の事業範囲がひとまわり大きくなりました。
- 館員一同、市民の皆さんのお期待に添えるよう、一生懸命頑張ってまいりますので、尚一層の御協力をお願ひいたします。



情報コーナーにラブカの標本がお目見え！

昨年の7月に、大磯漁港のサシ網で漁獲されたラブカ（二宮豊太郎氏寄贈）の標本が、このほど博物館2階の「情報コーナー」に展示されました。

ラブカは、深海性のサメで、口が頭の前端に開くこと、側線が開溝状であることなど、原始的なサメの特徴を持っています。体は細長く、頭部は縦扁し、胸は円筒状で、尾部は側扁します。外鰓孔は6対、体長は2m。産卵期は4~7月で、この頃に浅所にうつります。卵胎性で、1胎6~12尾を産み、産卵時の体長はおよそ60cmくらいと言われています。日本では、相模湾や駿河湾およびその近海に生息しています。

大変貴重な標本ですので、ぜひ一度、御観覧下さい。



らぶか

Chlamydoselachus anguineus GARMAN

「はくぶつかん」の郵送を希望される方は…

博物館では、毎月発行している「はくぶつかん」を御希望の方に郵送する便をはかっております。郵送を希望される方は、60円切手（1年分もしくは半年分）を同封の上、下記宛お申し込み下さい。

〒254 平塚市浅間町12-41
平塚市博物館

「はくぶつかん」スタッフから

「はくぶつかん」をもっとおもしろくて、楽しいものにするために、あなたのご意見、ご感想をぜひお聞かせ下さい。

（あて先） 〒254 平塚市浅間町12-41
☎ 0463(33)5111
平塚市博物館

「はくぶつかん」スタッフまで
どんどんお寄せくださいとの待っています！